



医師会だより

Vol.4
2006.7.30

発行/（株）大村市医師会
大村市協和町779番地
TEL 0957-54-0151
FAX 0957-54-3646
印刷：（株）つじ印刷

病気になっても住み慣れた自宅で

大村市医師会 副会長 小尾 重厚

最近、子供たちによる衝撃的な事件が頻発しています。佐世保で小学6年生の女児が同級生に刺殺された事件はつい先日のように記憶に残っています。その頃小児科の野口哲彦先生が、小学6年生の給食時間に、「子供たちと一緒に給食を食べながら、眼を閉じてもらって『人は死んでも生き返ると思いますか?』と質問したら、36人中6人が

手を挙げた。」という話をしています。

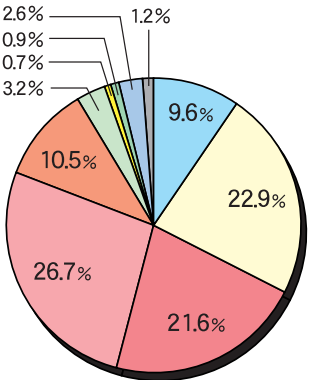
私たちが子供の頃は、今のような核家族ではなく、3、4世代同居の大家族で、病気で寝込んでいる年寄りもよく見かけていました。年寄りが亡くなる時は、自宅のことが多く、同じ屋根の下で、共通の悩みや苦しみや喜びを持ち、一緒にご飯を食べ、会話や喧嘩をし、大声を出した

長い間生活を共にしている人が、老人施設や病院で亡くなっても、その時だけ死に際に立ち会っても、子供たちには「人が死ぬ」という事が実感できないのではないのでしょうか。ましてコンピュータゲームでは、人は大量に殺され、一方では容易に生き返り活躍しています。痛みや、悩みや、苦しみの存在する現実の世界も、空想の世界も區別が付かないようになってしまっているのではないのでしょうか。

このような世の中で、自分に身近な人々が、自宅で人生の最後を、家族に看取られ、子供たちも「生あるものの死を実感して」行くことも、社会として大事なことではないでしょうかと考えるのです。

あなたは、どこで療養したいと思いますか？

『死期が近づいた時、あなたはどこで療養したいですか?』の質問に、病院や緩和ケア病棟などで最後を迎えたいと答える方が、8割近くです。しかし、そのうちの、半数以上の方は最後を迎える直前まで自宅で療養を希望され、最後まで自宅で療養したいと答えた方と合わせると、自宅での療養を希望する方は全体の6割近くになります。

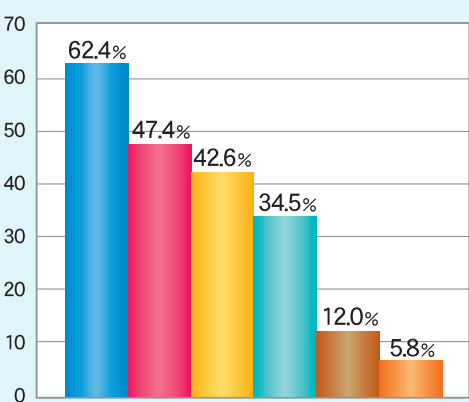


厚生労働省 終末期医療に関する調査 (平成16年7月調)

- なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることなどを目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 老人ホームに入所したい ■その他 ■わからない ■無回答

なぜ自宅で最後まで療養したいと思いますか？

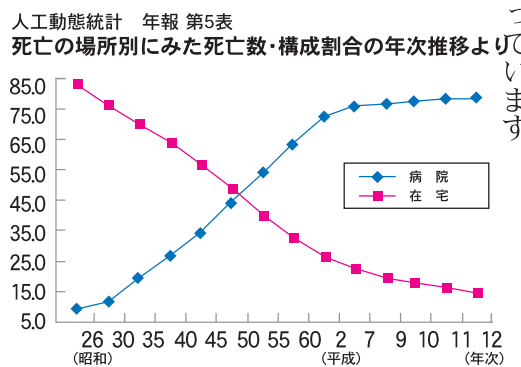
患者さんが住み慣れた場所で療養したいという希望は当然であり、家族とともに貴重な時間を過ごせる、自分のペースで生活ができる、自分の意思を尊重してもらえる、などといった利点が、心身ともに落ちていく事ができます。介護する家族の方にとっても、満足感が得られ、なによりも介護や死を通して、触れ合う家族の人たちが成長していきます。



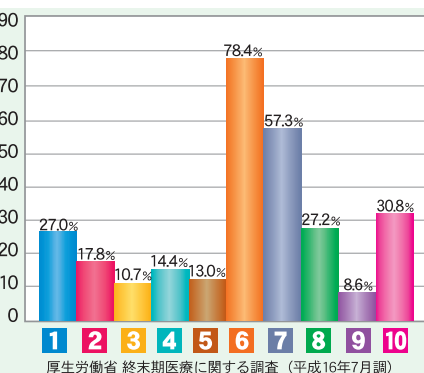
- 1 住み慣れた場所で最後を迎えたい
- 2 最後まで好きなように過ごしたい
- 3 家族との時間を多くしたい
- 4 家族に看取られて最後を迎えたい
- 5 病気では望むような状態で死ねない
- 6 家族や知人が自宅で最後を迎えたから

厚生労働省 終末期医療に関する調査 (平成16年7月調)

病院死と在宅死の年次別推移



戦前は家で死を迎える事が当然であったのですが、昭和50年頃を境に病院で亡くなる人の方が多くなり、今では、病院で亡くなる事が当然となつていきます。



- 1 往診してくれる医師がいない
- 2 訪問看護体制が整っていない
- 3 訪問介護体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状急変時の対応に不安である
- 8 症状急変時すぐに入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい

『家で過ごしたい』と望む人が多いのにそれができないのはなぜでしょうか？家族に対する負担と急変時の対応への不安が大きくなウエイトを占めています。

私たち医師会は、患者さんの不安、ご家族の負担を少しでも取り除くよう、訪問診療、訪問看護などを充実させ、安心して自宅で療養が出来るような体制作りを行ってきました。自宅が安心して療養のできる場所となるよう、今後も努力して行きます。

(牟田 幹久)

自宅で最後まで療養することが出来ないと思われる理由は何ですか？

大村看護高等専修学校 オープンキャンパス

日時 平成18年 8月3日(木)・4日(金)
10月14日(土) 9:00~12:00

お問合せ先 大村看護高等専修学校 TEL52-6712

※参加を希望される方は事前にお知らせ下さい。